

2017. 11. 25
No. 150

ホザナ園 だより

<http://hozanaen.or.jp/>

後援会事務所
〒336-0918
さいたま市緑区松木1-16-20
TEL (048) 873-9216
振替 00160-2-19387
会長 大迫裕男

児童養護施設
ホザナ園後援会

主の愛と恵み

ホザナ園後援会監事 鈴木 二郎

「あなたの御言葉は、わたしの道の光
わたしの歩みを照らす灯」詩編119：105

日頃ホザナ園の為に、熱いお祈りと御支援を頂いております事心より感謝申し上げます。

子ども達の楽しいクリスマスが冬の寒さと共に近づいてまいりました。しかし、世相の方は、色々と多岐に亘る問題を抱え、困惑の内に、この年を終わろうとしております。

子ども達みな元気に、健康で素直に大きくなり巣立っていったら欲しいと、職員の方々も心から願っています。その運営にあたっては懸命に努めておられますが、現実にはきびしく、お仕事については内外共に難しい時代になったのでは、と改めて強く覚える昨今であります。

昨年の園だよりにも、「初心を考える」とありましたが、今後どのようにすべきか、施設の養育指針の根幹に関わることで、その対応には苦慮されているのではと案じております。

ホザナ園は戦後に創立されましたが、創立当時より一貫してキリスト教主義を掲げての児童養護施設であることは、多くの方の知るところであり、皆様の愛と祈りのお支えにより今日まで守られて参りました。しかし、その運営は、公的資金により運営されておりますので、努めて宗教的な傾向を薄めるように、との要望が出されているようです。

戦後創立された戦災孤児養育所、昭和20年代は戦後の飢餓の時代。家族の生活、食料を確保するのも大変な時代でありました。ホザナ園の創設者である、浦和別所教会初代牧師横山英男師は、その時、愛の証しとして、その家庭を開放したのがそもその始まりでした。家庭の開放、当時を顧みれば至難の業でしたが、主の愛に生きる、その一字に尽きる正に信仰者の姿でした。

戦災孤児養育所は、児童養護施設にと変わり昭和30年代は高度経済成長期、世は幾分余裕、物質的にも満たされ、時代は大きく変化し、それと共に受け入れ児童のケースも大きく変わった事が思い出されます。しかし何が変化し進化したにも「初心は変わることはない理念」であり、創設者横山牧師が、この子達に救いをおもわれたのも当然のことでありま

す。創造の主なる神の大きな愛と恵みを思えば、動かすことの出来ないものと思えるのです。

聖書 箴言の9：10の御言葉には、「主を畏れることは知恵の初め」と、学ぶべき事、知るべき事の第一は、これであると私達に示されておりますが、第一のものを第一としていく時、自ずと心に祝福が喜びと感謝が生まれ、それを表して行けるのです。

現在、希望者数名の児童が出席、参加している、月に一度の浦和別所教会からの子ども礼拝の奉仕が、園として更に活かされることを期待しております。

聖書の光に触れ、愛の証しとしての養護に御言葉が道の光となり、その歩みを照らす灯となるように、そして過りのない人生へと無言の内に養育指針を踏まえた生活指導がなされるようにと、心より祈るものであります。

(日本基督教団浦和別所教会員)



児童棟 リビングダイニング

四季折々

夏と秋



施設長 内田 伴之

☆毎年恒例になりますが、「松の木会」という、卒園生や元職員が年に一度集まる同窓会のような会が開催されました。今年は7月になりましたが、例年20名程度の参加があります。お子さんを連れてきてくれた卒園生もおり、和やかなひと時を過ごせました。

(七月一日)

☆浦和レッドダイヤモンズ様から、サッカー観戦の招待がありました。相手は広島でしたが、先制して逆転され、再逆転するというスリリングな試合となりました。もちろん浦和レッズが勝利です。ご招待ありがとうございました。

(七月一日)

☆劇団カツパ座のご招待がありました。今回は「つるの恩返し」で、場所は川口リリアホールでした。幼児さんごみの参加でしたが、夢中になって観ていてとても楽しかったです。

(七月八日)

☆通学している小・中学校の一学期の終業式がありました。最近は少し早い終業かなと思いますが、その分二学期が早めに始まります。

(七月二〇日)

☆南棟全体での夏行事がありました。今年は南房総を中心に体験をしたり見学をしたりして楽しい時間を過ごしました。夕食時に雷雨の影響で停電になるなど、ある意味忘れられない体験もありました。

(八月一日〜三日)

☆北棟のそれぞれのホームで夏行事に行きました。楠の木ホームでは、神奈川県の海を中心に海水浴や遊園地など思いきり遊んできました。

(八月七日〜八日)

☆樫の木ホームは、横浜で買い物を楽しんだり、食事を楽しんだりしました。素敵な時間を過ごせました。(八月二日〜二二日)

☆避難訓練を行いました。子ども達も慣れた様子で淡々と参加していました。本当の火災があつた場合でも、焦らずに淡々と避難できるように練習を重ねています。

(八月二五日)

☆地域のお祭り、「文殊祭り」がありました。小さい子も浴衣を着て盆踊りを見たり、露店を回って買い物をしたり楽しい時間を過ごしました。大きい子たちは夏休みに会えなかつた友達と会えたり、楽しみ方はそれぞれでした。卒園生も来ていました。

(八月二五日)

☆小・中学校の二学期の始業式です。夏休みが少し早く始まるので、二学期の始まりも少し早いです。宿題もなんとか終わらせて、

元氣よく登校して行きました。

(八月二九日)

☆中学校の体育祭が行われました。日頃の成果を存分に発揮していました。「ムカデ競争」のようなものもあり、楽しい競技もありました。応援合戦は迫力がありましたよ。

(九月十六日)

☆小学校の運動会が行われました。集団での踊りや運動がよくまとまっていて、とても素敵でした。脚の早い子には自分の実力を見せるチャンスですね。

(九月三十日)

☆幼稚園の運動会がありました。一年一年成長を感じられる時間となりました。

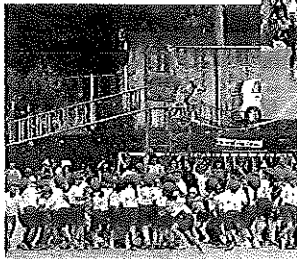
(十月八日)



中学校体育祭
リレースタート



リレーバトンタッチ



小学校運動会 玉入れ

作文



秋の行事

小六 M・K (女子)

運動会があったよ！私は赤組で負けた。だけど、がんばれたからいいかなと思ってます。

あと修学旅行があつて日光に行つた。少し寒かつたけど元気に日光東照宮をまわりました。



秋

小六 M・Y (女子)

秋が来ました。秋にしては、とても寒いですけどね。小6は修学旅行で日光に行きました。葉が綺麗な紅色に染まり、紅葉になりました。この季節には「紅一葉」(あかひと)と言う曲がオススメです。

穏やかに迫りくる季節は臆げ(はつきり)としない様子)ですね。気温にあつた服装をしましょう。

風邪を引く人が多くなつてきたので、健康に気を付けましょう。引いてる人はお大事に。



体育祭と誕生日

中一 K・O (女子)

9月16日体育祭が有りました。男子のせいであつて、だいなしにされ、ベスト3に入れませんでした。男子はおいといて、女子同士で協力し団結力が深まりました。ですが男子との仲は、前よりもちよつと悪くなつた気がします。

9月29日誕生日でした。本をもらいました。(9冊)もう一冊買ったのに買ってもらえませんでした。ですが、ほしい本がもらえたのでうれしかったです。

映画

中二 H・N (女子)

最近「ライオン25年目のたぐいま」と「幸せなひとりぼっち」という映画を観た。よかった。どつちも好きな雰囲気映画だった。芸術の秋・スポーツの秋は忘れて、どんどんDVDで映画をみたい。

夏

中三 H・N (女子)

8月1日から3日に夏行事で千葉に行つて来ました。一日目は牧場に行つて、羊毛フェルトで寿司をつくりました(まぐる)二日目は鴨川シーワールドに行きました。海の生



き物をたくさん見る事ができて楽しかったです。シャチの迫力にはとてもビックリしました(笑)。三日目は海ほたるで、景色を楽しみました。あとお土産も買ったので、とても良い思い出です。

8月25日に、もんじゅじ祭りがありました。宿題がぎりぎりだったので危なかつたです。実はその日は自分の誕生日だったので「夏」からの最高のプレゼントです。祭りは王道のかき氷を食べました。冷たくておいしかったです。今年の夏休みは今までで一番幸せでした。

文化祭

高一 R・H (女子)

9月29日と30日に高校で初めての文化祭がありました。

私は実行委員として、クラスに指示をしたり、放課後に「後夜祭」の準備をしました。ときには、クラスの男子と女子の間でうまくいかないこともあつたけれど、当日はみんな楽しめたので良かったです。

私のクラスの企画は脱出ゲームだったので、あまり人が来ないと思つたけれど、思ったより人気がありました。終わつた後は、クラスみんなで大くさん写真を撮つて一学期よりもクラス全体が仲良くなれた気がしました。初めての文化祭はつらい事があつた分、より楽しく感じる事ができました。



◎後援会費並びに寄付金納入者

平成29年7月～10月(順不同・敬称略)

金額一、〇七八、七〇〇円

会員・一般

秋元勇己、相川栄蔵、朝熊純一、安西愈、石塚尚、伊藤誠志、宇津城美奈子、大金久典、大倉浩、大山豊、大屋稔、小国陸子、長田慶子、尾島江子、梶井義郎、神谷浩二・きみ子、五味明子、柳原紀恵子、澤野綾子、椎名富夫、白沢郁子、新谷聡一郎、菅原進、園部利昭・幹子、高田恵子、高橋廣見、土屋光伸、中田知子、長村禎子、抜井太一郎、萩原明、長谷川翔一、坂東弘理、平子敏夫、深谷春男・美歌子、細田優子、前嶋武、牧甫、増島タイ子、増山律子、松本民雄・亜紀子、萬木晋、本橋睦夫、森啓一、森謙治、山田充広、山田称子、吉田久夫、金田佐久子、青木早苗、石井直子、稲穂政子、浦部千恵子、小口高・千明、大川進、柏田実、川田愉、白水三千代、皆川時男、森脇芳子、依田英雄、横山義孝、横山静子、柳川義也、杉山誠、岸亮夫、原嶋和夫、佐藤千恵、伊藤基子、篠原照美、澤田石秀晴、青木脩・和子、井戸上彰・絵里、内田潔子、内田まり子、金井俊子、篠崎紀代子、鈴木二郎・嗣子、濱田京子、春名道子、吉原将文、山本純子

法人・教会・他

大宮ロータリークラブ、(株)ルートウェイ、小松川教会、埼玉新生教会、戸畑高峰教会、練馬

栄光キリスト教会、みどり野キリスト教会、初雁教会

学校・幼稚園・他

広島女学院ゲーンズ幼稚園、認定こども園母の会

◎育英基金献金者御芳名

平成29年7～10月(順不同・敬称略)

金額 一六八、〇〇〇円

みどり野キリスト教会、朝熊純一、市川浩一、宇津城美奈子、大金久典、佐々木正、白沢郁子、鈴木桂子、園部利昭・幹子、立石昭三、中田知子、野島博、野島まどか、馬場元毅、濱田京子、坂東弘理、藤田純子、牧甫、皆川時男、山本純子

◎ボランティア来訪者(芳名)

平成29年7月～10月(順不同・敬称略)

散髪ⅡハンサムCassio 浦和西口店、ハンサムグループ北浦和店・宮原店、カットサロンGINZA、ハンサムファースト、学習ボランティアⅡ松尾雄一、赤木裕治

◎物品寄贈・ご招待等

平成29年7月～10月(順不同・敬称)

セカンドハーベストジャパン(毎月お米・砂糖・食用他)、フライイブモリスジャパン(㈱缶ジュース・他)、スプーンデルソル(㈱レトルトカレー)、(㈱)チユチュアンナ(グループ)

ソックス・キッズソックス他、ドリームラウンド川口(チップスター)他 浦和東ロータリークラブ(布団・勉強椅子)、NPO法人タイガーマスク基金(テレホンカード)、埼玉県社会福祉協議会施設業務課(くつ下)、産経東日本企画(㈱)(パトミントンセット他)、グリーンヒルうらわ在宅介護支援センター三室地区社会福祉協議会(雑巾・マット) 椎名富夫(かぼちゃ・タオル・冬かん他)、長尾淑子(毎月米50kg)、佐々木清美(官製はがき100枚)、石渡三鈴(三輪車・絵本)、山本有香(レターセット他)、中村(バスタオル・FAX用紙・せんべい他)、石井初江(カルピス)、中村和子(梨)、馬場(ペビインナー)、中山(ランニングシューズ・調味料)、大木隆弘(バスタ・トマトソース)、匿名希望(文具・お菓子)

編集後記

日頃、尊いご支援を頂いておりますことを心より感謝申し上げます。

お振込の際に、子どもたちへの思い、又職員や後援会に対しての言葉掛け等のコメントを頂きましてありがとうございます。その温情のお言葉を、役員会でも共有し励みとしております。

これから、厳しい冬の寒さに向かいますが、皆様方の健康が守られますことをお祈りしています。 山本純子